

受験州の特徴

AK

Alaska
アラスカ

アラスカ州

〈魅力〉受験要件が緩やかなので早期受験・合格が目指せます。

〈受験条件〉 ●4年制大学の学位
●会計15単位(指定科目なし)

備考 ●4年制大学在学中の方は卒業に必要な単位数に対し不足する単位数が18単位以下であれば受験可。実際には、手続きの関係で4年生の後半で受験可能になります。
●USCPAのライセンスを保持する直属の上司の監督下での会計実務経験を証明することで会計単位の取得がなくても出願可能となる場合があります。
●License取得のためには、総取得単位150単位、会計24単位、Business Law、Economics各3単位、Statistics/Computer Science/Mathいずれか3単位が必要。ただし合格後の取得でも構いません。

NY

New York
ニューヨーク

ニューヨーク州

〈魅力〉世界経済の中心地ということもありネームバリューがあります。
大学の学位も不要なので受験要件が緩やかな点も魅力的です。

〈受験条件〉 ●総取得単位120単位
●以下4つのエリアの指定科目を取得していること
Financial Accounting (upper division)、Auditing (upper division)、Taxation、
Management Accounting

備考 ●ニューヨークでライセンスを取得するにはニューヨークの市民権が必要となり原則として米国内で居住・労働することが認められた方にのみライセンスの発給が認められます。また、提携のブラッドリー大学では提供のないBusiness And Accounting Communicationsなどの科目も必須となります。
そのためTACでは、ニューヨーク州向けのライセンス申請のサポートは行っておりません。ニューヨーク州で合格後にライセンス申請をお考えの方はワシントン州へのトランスファー制度をご確認ください。

MT

Montana
モンタナ

モンタナ州

〈魅力〉学位が不要なため、大学1～3年生や高卒の方でも受験が可能です。

〈受験条件〉 ●Upper Division(※)に該当する会計24単位
(Financial Accounting・Auditing・Taxation・Management Accountingを含む必要あり)
※大学3年・4年生にて取得された単位に相当
●ビジネス24単位
●大学在学中の受験も可能です。

備考 ●短期大学や専門学校等で取得された単位は認められません。
●大学1～2年生で取得した単位はLowerレベルとされるのが一般的です。

WA

Washington
ワシントン

ワシントン州

〈魅力〉監査以外の実務経験でもライセンスの取得が可能です。
TACのライセンス取得サインサポートをご利用いただけます。

〈受験条件〉 ●4年制大学の学位
●総取得単位120単位
●会計24単位
(ただし最低15単位はUpper Divisionの単位でなければなりません。)
●ビジネス24単位

〈ライセンス取得要件〉 ●必要総取得単位数150単位
●1年かつ2000時間以上の実務経験
●会計業務(経理、財務、税務など)に関するものであれば、監査法人や会計事務所に限らず、(米国外を含む)一般事業会社での経験も認められ得る。
●実務経験の認証者は、USCPAライセンスホルダー(5年以上Active)であれば、直属の上司である必要はない。(社外の人であってもよい。)

備考 ●受験要件が緩やかな州(アラスカ州やニューヨーク州)で早期受験・合格をし、ライセンスが必要となった際に合格実績をワシントン州へ移行しライセンス申請を行うことができます。
(2023年5月現在)

GU

Guam
グアム

グアム

〈魅力〉実務経験がなくても名刺にUSCPAと記載することができます。
(ただし Inactive という記載が必要)
見込受験制度を使えば早期出願ができます。

〈受験条件〉 ●総取得単位120単位(短大・3年制大学を卒業の方も受験可能です。)
●Upper Division(※)に該当する会計24単位
※大学3年・4年生にて取得された単位に相当
●(Financial Accounting・Auditing・Taxation・Management Accountingを含むこと)
●ビジネス24単位
(Economics 6単位以上、Finance 3単位、Business Law 3単位を含むこと)
●受験条件を満たさずとも見込み受験が可能。ただし合格実績は「暫定合格」となり、
初回受験から18ヵ月以内に上記条件を満たす必要あり。

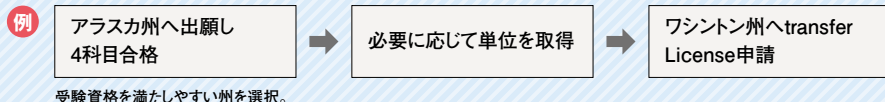
備考 ●3年制大学や短期大学を卒業されている方も、単位を120単位取得していれば、受験可能です。会計指定科目のManagement AccountingはCost Accountingも可能です。
●実務経験なしで、Inactive Licenseの取得が可能です。名刺の記載はUSCPA-Inactiveになります。
●ライセンス(インアクティブライセンスを含む)の取得には、総取得単位150単位、ethics (accounting course)の単位 およびresearch and analysis 2単位の取得が必要です。
●監査実務がない場合はLicense業務に制限があります。

出願州早決めフローチャートおよび各州の要件の詳細をP.9に掲載していますのでご参照ください。

TACからの一言

ワシントン州へのtransfer(合格実績の移行)について

USCPA試験に4科目合格後、ワシントン州の受験資格を満たすよう追加で単位を取得すれば、合格実績をワシントン州に移すことが可能です。ワシントン州はLicenseを狙いやすい州ですが、受験資格を満たすために要求される単位数が多いため、まずは他州で試験に合格後、必要に応じてワシントン州へ合格実績を移し、License申請をする方法も考えられます(2023年5月現在)。※州のルールは、変更される場合があります。



各州の受験要件・License要件は変更となる可能性がございます。TACが受験及びLicense取得を保証するものではありません。予めご了承ください。
Licenseサインサポートは、ワシントン州のみ行っております。その他の州は単位要件・実務経験・居住要件等が一般的に厳しいためTACではサポート外となります。予めご了承ください。